

## 新製品紹介

- 自動車用およびバイク用バッテリーの兼用充電器「GZC-850BX」
- 窒素パージ小形コンベア式 UV 照射装置「CSN2-40」

### 自動車用およびバイク用バッテリーの兼用充電器「GZC-850BX」

(株)ジーエス・ユアサ インダストリーは、自動車用およびバイク用バッテリーの兼用充電器「GZC シリーズ」の1機種について、ユーザーがより簡単に充電することができるように、IC 制御によるオートタイマー搭載などによって、その仕様をリニューアルした「GZC-850BX」を発売しました。

当社では、一般オーナードライバー向けに自動車用およびバイク用バッテリーの兼用小形充電器「GZC, G×G シリーズ」を2000年9月より販売しております。

近年、自動車とバイクの両方を所有するユーザーが増加して、そのバッテリーを簡便にメンテナンスする要望が多くなってきています。また、冬場や季候が良くない時にバイクに乗らないユーザーもあり、その場合にバッテリーが自己放電によって劣化する可能性もあることから、充電をする機会が増えています。

そのために、本製品は自動車用およびバイク用バッテリーを兼用で使用できる現行機種「GZC550-BD」の機能をアップしました。従来品では充電時間を手動で設定する機械式タイマーを搭載していましたが、本製品はIC 制御のオートタイマーを搭載することにより、今まで、一般ユーザーでは判断しにくかった充電時間を全く設定しないで充電が可能になりました。したがって、充電時間の設定ミスによるトラブルの発生がなくなり、極めて簡単にバッテリーを補充充電することができます。

また、バイク用バッテリー専用の機能として「再充電機能」を新たに追加しました。今までの充電器は、充電がいったん終了すると、ユーザーが再度充電器を設定しないと再スタートすることができませんでした。そのために、長期間バイクに乗らないユーザーに

とっては、ユーザー自身が充電の必要時期を判断しなければならず不便でした。「再充電機能」は、充電器がバッテリーの自己放電などによる電圧降下を感知して、充電を自動で再スタートさせるものであり、バッテリーと充電器を接続したまま、補充電が自動で可能となります。

#### <特長>

1. 電圧降下感知による再充電機能を搭載(バイク用バッテリー専用機能)

充電器がバッテリーの自己放電などによる電圧降下を感知し、自動で充電を再スタートできる。そのために、バッテリーの充電時期をユーザー自身で判断する必要がなく、長期間搭乗しないバイクユーザーにとって、補充電が容易になり大変便利である。

なお、開放形バッテリーの場合には、液面チェックが必要である。

2. IC 制御によるオートタイマーの搭載

オートタイマーにより、従来は設定が面倒であった充電時間を自動的に設定して充電することが可能である。また、バッテリーのサイズや充電状態なども設定する必要もなく、バッテリーと充電器を接続して、充電を開始するだけで、自動的に充電を終了する。

3. バイク用から軽自動車、普通車まで広範囲にバッテリーをサポート

バイク用バッテリー(7～20 Ah) から D31 タイプの自動車用バッテリー(21～80 Ah) までの充電が可能である。

4. アナログ式電流計の搭載

充電状態を電流値で正確に表示するアナログ式電流計を搭載している。

5. VRLA(制御弁式)バッテリーにも対応

バイク用バッテリーでは一般的になった VRLA(制御弁式)バッテリーも充電できる。

#### 6. 小形タイプながらブースト機能を搭載

冬の寒い時期などエンジンがかからないときに、充電器の出力電流によりバッテリーをサポートしてエンジンスタートさせるブースト機能を搭載している。

#### 7. 耐久性に優れたコンパクトボディ

耐衝撃性・耐熱性に優れたエンジニアプラスチックを本体に採用している。また、充電クリップを収納できるスペースもあり、持ち運びに優れたコンパクト設計となっている。

<メーカー希望小売価格（税込）>

¥ 21,000

<問い合わせ先>

(株)ジーエス・ユアサ インダストリー  
特機事業本部 営業部



## 窒素パージ小形コンベア式 UV 照射装置 「CSN2-40」

(株)ジーエス・ユアサ ライティングは、窒素パージ小形コンベア式 UV 照射装置「CSN2-40」を開発、2006年2月より発売しました。

今年4月より、改正大気汚染法による VOC(揮発性有機化合物)排出抑制制度が施行されます。VOC は光化学オキシダントの原因物質の1つであることから、産業界で広く使用されている溶剤形塗料・インキ・接着剤の VOC 排出に厳しい規制がかかります。

当社の紫外線硬化装置は、40年近い歴史があり、紫外線硬化形塗料・インキにおいても、すでに VOC 対策(無溶剤化)が取られています。今後さらに広範囲な印刷・塗工のニーズのもとに、新しい紫外線硬化樹脂の商品開発が求められています。

この「CSN2-40」は、従来にない紫外線硬化樹脂の商品開発・用途開発に対応した装置です。

当社では、大気雰囲気でのコンベア式 UV 照射装置(小形実験機)は、従来より販売していますが、窒素パージ UV 照射タイプは受注対応で、かつ高価なものになっていました。

今回、標準的な小形実験機となる窒素パージ式装置をご用意したことで、ユーザーが窒素パージ紫外線硬化樹脂の開発に取り組みやすくなりました。

低酸素濃度下での UV 照射が、大規模かつ高額な装

置でなくても可能となり、紫外線硬化樹脂の研究開発が今後、よりいっそう進むものと期待されます。

### <特長>

1. 低酸素濃度雰囲気、少ない窒素消費量で実現可能
2. コンパクトサイズながら、実験条件の設定が広範囲
3. 搬送速度・UV 出力・酸素濃度をデジタルで集中設定・表示が可能
4. 設定した残留酸素濃度の自動制御
5. インターロック付による安全管理

### <価格>

¥ 3,800,000

### <問い合わせ先>

(株)ジーエス・ユアサ ライティング UV営業部

